

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 521 号	氏名	尾関 あゆみ
学位審査委員		主査	永山 雄二
		副査	澄川 耕二
		副査	中島 正洋
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、大脳皮質幹細胞における放射線照射後の DNA 二重鎖切断修復能、アポトーシス誘導、生存後の神経細胞或いはアストロサイト、オリゴデンドロサイトへの分化能を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラット大脳皮質由来神経幹細胞を用いた in vitro 細胞培養で、DNA 二重鎖切断修復能、アポトーシス誘導、細胞分化及び細胞内情報伝達を蛍光染色などの方法で解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、大脳皮質幹細胞において、DNA 二重鎖切断修復及びアポトーシスが高率に誘導されること、生存した幹細胞は通常分化しない増殖環境下でも nuclear factor-kappa B (NF-kB) シグナルと分泌因子を介してアストロサイトへ分化することが明らかとなった。今後の放射線の神経障害予防/治療研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は放射線生命科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			